

令和5年度 年間学習指導計画案

科目	言語文化	単位数	3 単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	言語文化（数研出版）			副教材等	新明説総合古典文法（尚文出版）・漢文学習必携（京都書房）・古文单語330（文英堂）※副教材は普通コースのみ使用

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に把握し効果的に表現する資質、能力を育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点					
a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に学習に取り組む態度	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	古文入門「絵仏師良秀」	・古典を読むのに必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。	○			歴史的仮名遣いのきまりや、古典特有の表現、用言の活用について理解している。	定期考查 課題 小テスト 授業態度
		・内容や構成、展開を的確に読み取り、作品に表れているものの見方、考え方を捉える。		○		登場人物の心情の変化や行動の理由について読み取ることができる。	
				○		進んで歴史的仮名遣いを理解し、説話の面白さを読み取り、他者に説明できる。	
	古漢文入門一、二 古故事 「矛盾」「狐借虎威」	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。	○			中国の古典が日本に輸入され、訓読の仕組みが生まれた歴史を理解している。	
		・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。		○		漢文の内容を読み取り、自分のものの見方や考え方を深めることができる。	
				○		故事成語が現代の日本語ではどのように使われるかを確認し、活用できる。	
	古物語「芥川」「東下り」「筒井筒」	・歌物語に描かれている内容を、和歌の解釈とともに叙述をもとにして的確に捉える。	○			『伊勢物語』について構成や内容、当時の恋愛や貴族の生活について理解している。	
				○		本文中の重要語句や助動詞、助詞、和歌の修辞に着目して、本文の内容を把握できる。	
				○		「男」の心情の変化や行動について、本文を根拠に話し合うことができる。	
	古隨筆 「つれづれなるままに」「ある人、弓射ることを習ふに」「舟波に出雲といふ所あり」	・隨筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。	○			『徒然草』と作者について知識を深め、重要語句や助動詞を理解している。	
		・文語の活用について、理解を深める。		○		本文全体の内容と構成をつかみ、根拠を持って読解することができる。	
				○		隨筆に表れた作者の考えを、叙述を基に他者と話し合うことができる。	
	現詩歌「サークัส」「I was born」	・「サークัส」を読み、筆者の表現の工夫を読み取るとともに、描かれている主題を読み取る。	○			用いらされている語句の意味や使われ方を理解している。	
		・「I was born」を読み、(かげろう)のイメージに託された生命への思いを深く味わう。		○		表現の工夫を読み取り、作者が描こうとしている主題を読み取ることができる。	
				○		詩の読解を通して自らのものの見方、考え方を深め、鑑賞文を書くことができる。	
	古史伝「先従隗始」	・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	○			出典と編者について理解し、舞台となった時代や地域について知識を獲得している。	
				○		郭隗の主張とその根拠について、正確に読み取ることができる。	
				○		「隗より始めよ」が現在どのような意味で用いられているかを理解し、活用できる。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 1 2 2 3	古隨想「雪のいと高う降りたるを」 古漢詩「香炉峰下、新ト山居、草堂初成、偶題東壁」	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆に表れている作者独自の物事の見方に触れ、ものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、他の作品との関連を踏まえながら多角的に読み味わう。 	○			敬語を正しく読み取るとともに、当時の人々の暮らしを示す表現について理解している。 作者独自のものの見方や当意即妙な対応について、本文をふまえて正確に理解できる。 複数の文章を正確に読み、その関連について説明することができる。	定期考查 課題 小テスト 授業態度
				○		作者独自のものの見方や当意即妙な対応について、本文をふまえて正確に理解できる。	
					○	複数の文章を正確に読み、その関連について説明することができる。	
	現小説「山月記」 古小説「人虎伝」	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれた人間の孤独な葛藤を読み取り、自らのものの見方、考え方を深める。 ・漢文訓読調表現の特徴や物語展開の把握を通して、文学表現の理解力を養う。 	○			物語の展開や、登場人物とその相互関係について理解している。	
				○		李徵の心情の変化について、物語の展開に即して読み取ることができる。	
					○	「人虎伝」との読み比べを通して、作品の主題について読み深めることができる。	
	古漢詩「静夜思」ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のきまりや押韻、対句などを理解し、読まれている情景描写や心情を読み味わう。 ・中国と日本の漢詩を読み比べることで、それぞれの文化について理解を深める。 	○			漢詩のきまりや押韻、作者や漢詩が作られた背景について理解している。	
				○		漢詩に詠まれた情景描写の美しさと心情について、正確に読み取ることができる。	
					○	中国と日本の漢詩を読み比べ、相違点や共通点について話し合うことができる。	
	古隨筆 「門出」「帰京」	<ul style="list-style-type: none"> ・隨筆に表れている作者独自の物事の見方に触れ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 	○			古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	
				○		文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	
					○	旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	